

Gnoble生物 春期講習から新規開講！

最新の魅力にあふれる生物学を伝えます

生物学は急速に進歩しています。それに伴い学習指導要領や教科書の内容も大きく見直され変化してきました。Gnoble生物では「今を知る」生物系を専攻する講師たちが授業を担当し、一人ひとりをしっかり見つめながら、受験のみならず将来に役立つ教養としての「知の力」が身につくよう指導します。

開講コース

【生物αコース】：高1 / 高2生対象

～高校生物の全分野を一年間で学べる講義型授業～

初学者（中学卒業）レベルの知識を前提として、高校生物の全分野を基本から講義していきます。暗記一辺倒ではなく、生物学的な思考力を問うオリジナル問題を織り交ぜるとともに、身近な題材や最新の時事ニュースも取り上げます。また、生物学の発展の歴史を追いかける形式の授業も行い、生物学の面白さ、楽しさを追体験しながら学べます。

【東大コース・難関コース】：高3生対象

～受験に即応した演習型授業～ ※2019年～開講予定

2019年より高3生対象として2種類の演習クラスを開講します(詳細は改めてご案内いたします)。

- 東大コース：東京大、京都大、慶應大(医)などを志望する方対象
- 難関コース：国公立大・私立大の医学部をはじめ難関大学を志望する方対象

高校のカリキュラムでは…

学習指導要領上、高校での生物は「生物基礎」と「生物」に分かれます。「生物基礎」は高1生、「生物」は高2～高3生で学ぶ場合が多く、遺伝や生態系など、双方に重複する単元もありながら、より発展的な内容を「生物」で学習することになります。

高1生から受講する意味とは？

講義形式の【生物αコース】は高1・高2生の合同クラスです。例えば、医学部志望者のように将来の進路を決めている場合、勉強時間に余裕のある高1生のうちに生物を一通り学習することで、高2生で化学、高3生で両科目の演習というような、計画的な入試対策が可能になります。また、文科系のかたが教養科目として受講する場合にも、高1生での受講をお勧めします。

■生物を学ぶ意義 ～Gnoble生物開講によせて～

生物科 伊藤 有仁

現在、ライフサイエンス＝生命科学には大きな注目が集まっています。それは、ライフサイエンスが地球規模の環境課題、エネルギー制約、医療・少子高齢化、食料需給といった大きな社会問題を解決しうると期待されているからです。

また、日々ニュースに取り上げられる、先端医療、遺伝子組み換え作物、地球生態系の破壊、クローン生物などには社会的、倫理的な面から多くの問題が指摘されています。こうした社会的存在としての人間と、生物としてのヒトとの間に起こっている諸問題に対しても、ライフサイエンスの進歩とその適用を担う人材が未来を切りひらく鍵となるはずです。

次世代を担う生徒たちにとって、生物学の基本的な知識や教養は、理系の研究者や医療者だけにとどまらず、身につけておくべきであると確信しています。

まずは、春期講習からの【生物αコース】の受講をお待ちしています。